

概要版

大和高田市 第2期 地域福祉計画・ 地域福祉活動計画

令和8年度 ▶ 令和13年度



令和8年3月

大和高田市・
大和高田市社会福祉協議会

1 計画策定の背景・趣旨

今の日本では少子高齢化や核家族化が進んだことで、家族や近所での助け合いが弱まり、自分たちだけでは解決できない悩みが生まれています。

こうした中、誰一人取り残さずに支え合う「地域福祉」の充実がより重要になっています。特に「8050問題」や、育児と介護の同時進行、家族の世話を日常的に担う「ヤングケアラー」など、複雑な課題への対応が急がれています。

大和高田市では、こうした社会の変化にしっかり対応していくため、新たに「大和高田市第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。

2 地域福祉の考え方

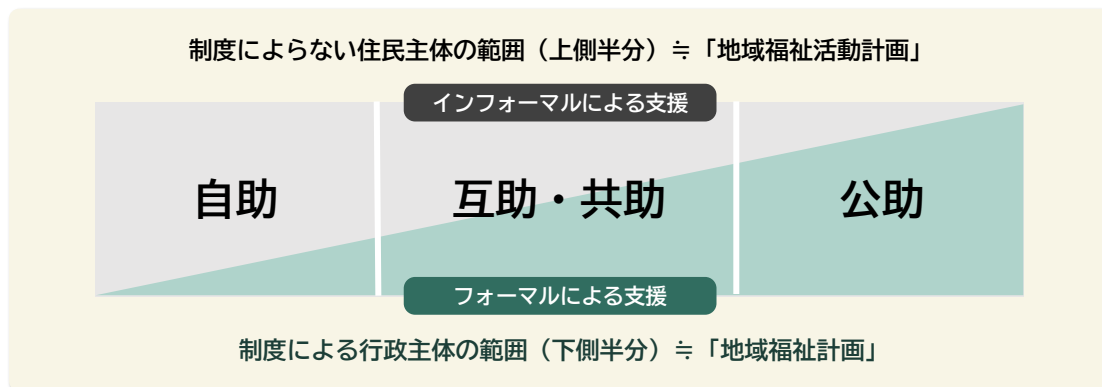
「地域福祉」とは、誰もが安心して暮らせるよう、住民やボランティア、専門家、市役所などが協力して地域の困りごとを解決していく考え方です。

この地域福祉を進めるには、まず自分でできることに取り組む「自助」や、近所の人と助け合う「互助」が欠かせません。さらに、保険などの仕組みで支え合う「共助」や、行政が公的なサービスで支える「公助」も重要です。これら4つの役割がバラバラになるのではなく、お互いに連携し、協力し合いながら進んでいくことが、これからの未来にとって大切です。

3 「地域福祉計画」・「地域福祉活動計画」とは

「地域福祉計画」とは、地域福祉を推進する仕組みをつくる計画で、市が策定します。また、「地域福祉活動計画」とは、地域福祉の具体的な活動の進め方をまとめた計画として、市の社会福祉協議会が策定します。

◆ 「地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」の関係性



4 計画の位置づけと期間

「地域福祉計画」は、大和高田市が目指す理想の未来を実現するための、いわば“福祉版のまちづくりガイドブック”です。高齢者やこども、障害がある方など、それぞれの分野ごとに作られた計画を一つにつなぐ、中心的な役割を担っています。

今回の計画では、本計画に加え、「地域福祉活動計画」「成年後見制度利用促進計画」「再犯防止推進計画」「重層的支援体制整備事業実施計画」という、5つの計画を一つにまとめました。計画の期間は令和8年度から令和13年度までの6年間です。社会の変化に合わせて内容を見直しながら、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

5 計画の基本理念

私たちは、お互いの個性を認め合い、地域みんなが抱える悩みを一緒に解決していくことを目指します。住民同士が自然に支え合い、誰もが安心して暮らせる環境を整えることで、未来までずっと続く「福祉のまち」を作っていくため、次の基本理念を大切にしていきます。

基本理念

助け合い、支え合う 笑顔あふれる福祉をめざして
～いつまでも住み続けられるまち 大和高田～

6 計画の基本目標と施策の展開

基本目標1 認め合い、高め合う 福祉の人づくり

施策の方向性1-1 福祉の心の醸成



高齢者や障害がある方、性的マイノリティなど、さまざまな立場の人を大切にする心を育てます。差別をなくし、誰もが平等に活躍できるなど、お互いを尊重し、誰もが幸せや豊かさを感じて安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を進めます。学校の授業や地域の学びの場を通じ、みんなで福祉を学ぶ「福祉教育」に取り組みます。

みなさんの役割

- 地域において人権に関する理解を深め、お互いを尊重する心を育みましょう。
- 困っている人がいたら、お互いに助け合い、支え合えるように努めましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- SNS等を通じた情報発信の強化をしていきます。
- 学校や地域とともに福祉の学びの機会の拡大と充実に取り組みます。

大和高田市の役割

- 学校や地域で人権や福祉について学ぶ機会を提供します。
- 人権に関する情報発信を充実します。

施策の方向性1-2 地域福祉を担う人材の育成



社会福祉協議会と協力し、誰もがボランティアに参加できるきっかけを作るとともに、一人ひとりの特技を地域の支え合いに活かせる環境を整えます。また、リーダー育成や若い世代が参加しやすい仕組みづくりを通じ、年齢に関係なく誰もが地域の仲間として活躍できる社会を目指します。

みなさんの役割

- ボランティア活動に興味を持つことから始め、積極的に参加してみましょう。
- 助け合いの心を持って、地域を支える大切な一員であることを意識しましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- 講座の開催等により、ボランティアの育成に取り組みます。
- ボランティア団体の活動を引き続き支援します。

大和高田市の役割

- ボランティアや地域の活動について、広報誌やホームページ、SNSなどを活用して、継続して情報を発信します。

基本目標 2 助け合い、支え合う 福祉の地域づくり

施策の方向性 2-1 地域づくりの推進



すべての住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、見守り活動を広めます。また、高齢者や障害がある方など、支援が必要な人たちの様子を気にかけてながら、地域全体で助け合う仕組みを整えていきます。

交流の場である「サロン活動」などを応援し、住民同士が協力して新しい場所を立ち上げ、継続していくことを支援することで、誰もが参加しやすい環境を作っていきます。

助け合いの仕組みを広げるため、地域の悩みを話し合う場を設けたり、居場所を増やします。住民同士が情報を共有したり意見を交換できる場を整え、地域に合った協力体制づくりを支援します。

地域の生活のなかで、助け合いの心を広め、互いを思いやりながら、誰もが安心して住み続けられるまちづくりを進めます。

みなさんの役割

- あいさつや声かけを行い、お互いのことを気にかけるようにしましょう。
- いろんな世代が交流する場へ積極的に参加しましょう。
- 周りの人の様子や困りごとなどに気づいたら、地域で見守り、必要なサポートにつなぎましょう。
- 地域に住む一人ひとりが、それぞれの個性や多様な生き方を認め合い、尊重しましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

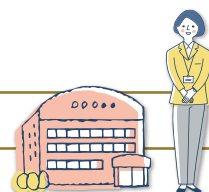
- 民生委員・児童委員の活動を継続して支援します。
- 地域における仲間づくり・居場所づくりとしての交流の支援に積極的に取り組みます。
- 地域組織とのネットワークのなかで、地域やそれぞれの世帯の悩みや困り事が共有できる場や機会を継続的に支援します。
- 支え合いや助け合いについて、理解を深めるための勉強会等を引き続き開催します。

大和高田市の役割

- 地域の人やグループ、お店、会社などによる「見守り活動」の取り組みを進めます。
- 地域で誰もが気軽に集まれる「居場所」を作ります。
- 地域の中で話し合いの場を開き、地域の困りごとを把握して解決するためのネットワークを作ります。
- 地域福祉についての学習の場を作ったり、広報誌やSNSなどで役立つ情報を届けたりする活動を継続して行います。



施策の方向性 2-2 地域ネットワーク機能の強化



近所同士の助け合いをまち全体で広めていくために、住民同士のつながりや絆をさらに深めることで、自分たちで助け合い、支え合う「地域福祉」の活動を力強く進めていきます。

また、福祉の専門家や地域の人たちが顔見知りになって、みんなの悩みを一緒に解決できる関係を作り、困りごとの解決を後押しするため、社会福祉協議会や、身近な相談相手である民生委員・児童委員さんとの協力を深め、地域全体で助け合える仕組みを整えます。

みなさんの役割

- 地域福祉活動に興味を持ったときは、身近な活動から参加してみましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- 地域組織や各種団体と連携して、支援体制を構築するネットワークづくりに、引き続き取り組みます。

大和高田市の役割

- 多様な生活スタイルに配慮しつつ、自治会などの活動への参加を呼びかけます。

施策の方向性 2-3 社会参加の推進

地域の活動に参加しやすくするため、情報発信やきっかけづくりを増やしたり、活動の場を広げます。同時に、地域で孤独を感じている人の見守りやサポートを進めることで、誰もが誰かとつながりを持てるような環境づくりに取り組んでいきます。

みなさんの役割

- みなさんも地域の一員として、地域活動に参加しましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- ひきこもりや支援を必要とする人に対し、必要な支援を行い、関係機関につなげます。

大和高田市の役割

- 地域活動を始めるきっかけの場を作り、一人ひとりが自分らしく活躍できるチャンスを広げていきます。

施策の方向性 2-4 多様な主体との連携促進

複数の課題が重なっていたり、制度の基準にあてはまらなかったりするため、支援が受けられないといった「狭間の問題」が増えています。そのため、分野の壁を越えて専門家やチームが手を取り合い、みんなで支え合うネットワークを強めていきます。

みなさんの役割

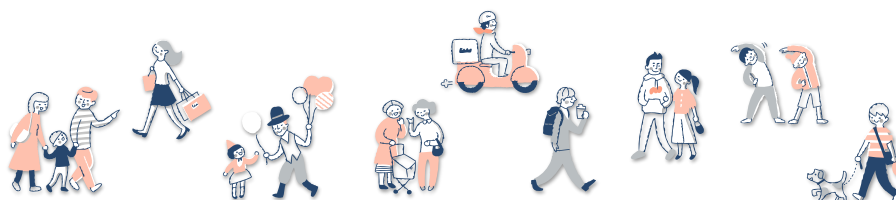
- 周りに助けが必要そうな人がいたら、地域の相談窓口や市役所へつなぎましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- ネットワークづくりのために、各関係機関・団体との会議に参加し、連携する機会を作ります。

大和高田市の役割

- 相談窓口同士が連携して、情報を共有し、役割を分担することで、丸ごと支えるチーム体制を作ります。



基本目標 3

みんな安心 福祉のまちづくり



施策の方向性 3-1 相談支援体制

地域みなさんが身近に相談できるよう、相談相手である民生委員・児童委員さんの役割や活動を広く知らせていきます。また、市役所の窓口や社会福祉協議会、専門の相談場所の対応力を高めるため、それぞれの役割を強化し、職員のスキルアップにも取り組みます。さらに、誰もが支え合える社会を目指して、一人ひとりに合った支援につなげられる仕組みを、市全体で作っていきます。

みなさんの役割

- 悩みや困りごとは一人で抱え込まず、家族や市役所などに相談しましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- 仲間づくり・居場所づくりとしてのサロン活動を通して、地域住民の悩みや困り事の把握に努めます。

大和高田市の役割

- 地域の相談窓口や専門機関が連携し、悩みや困り事の把握に努めます。



施策の方向性 3-2 様々な媒体を活用した情報提供の充実

基本施策 ① 情報発信の充実

市民に情報が届くよう、市の広報誌やホームページなどの発信力を高め、より伝わりやすい仕組みを整えます。また、高齢者や障害がある方への情報提供については、事業者などと協力し、年齢や障害の状態に合わせて、紙・web・電話などさまざまな方法で届けることで、必要な支援やサービスが利用できる環境づくりを進めていきます。

みなさんの役割

- 広報誌やホームページ、回覧板などをチェックして、日頃から福祉の情報に興味を持つようにしましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- SNS等の活用を通して、福祉関連情報の発信強化に取り組みます。

大和高田市の役割

- 市役所の窓口や広報誌、ホームページなどを通じて、みんなに役立つ福祉の情報をこれまで以上に分かりやすく発信していきます。



施策の方向性3-3 安全・安心な地域づくり



普段から地域で助け合う関係を築き、災害時にそのつながりを活かし、安否確認や支援ができる体制を作ります。その際に、個人情報に配慮した情報共有の仕組みを構築します。社会福祉協議会を中心とした災害ボランティアの受け入れ体制を強化し、また、福祉避難所を確保することで、介護や障害がある方など配慮が必要な人を支える準備を進めます。

福祉サービスを、必要な人が必要なときに受けられるよう仕組みを整え、誰もが安心して利用できる環境を作ります。

バリアフリーや、誰にでも使いやすいユニバーサルデザインを広めるとともに、移動手段を充実させることで、地域で安心して住み続けられるまちづくりを進めます。

みなさんの役割

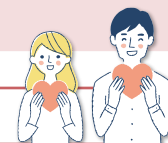
- 防災学習や防災訓練等に積極的に参加しましょう。
- 高齢者や障害者、認知症の人等について、みんなで支え合う意識を持ちましょう。
- 歩行や移動で困っている人には、手を差し伸べましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- 災害ボランティアの登録制度を進め、防災に関する学習の機会の提供に努めつつ、いざというときの助けあい・支え合いの体制づくりを推進します。

大和高田市の役割

- 防災に関する情報を継続的に発信し、住民に周知します。
- 公共施設や歩道に、誰もが使いやすいバリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れます。



施策の方向性3-4 セーフティネット機能の強化

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、助けが必要な人の孤立を防ぐ仕組みづくりを進めます。

配偶者への暴力や、高齢者、障害がある方、子どもなどへの虐待を防ぐため、通報や相談を受け付ける仕組みを強化します。また、関係機関が協力し合うことで、問題を早期発見し、速やかに対応できるような環境づくりを進めます。

自分の権利や財産を守れるよう、「成年後見制度」の利用を広め、一人ひとりの尊厳を守る取組を進めていきます。

みなさんの役割

- 再犯防止や更生保護について、正しく理解しましょう。
- 虐待や暴力に気づいたら、市役所や警察に相談しましょう。
- 成年後見制度を正しく知っておきましょう。

大和高田市社会福祉協議会の役割

- 犯罪や非行をした人の相談を受け付け、自立に向けた支援を行います。
- 虐待や暴力の状況を把握し、様々な制度や支援につなげます。
- 成年後見制度の利用が必要な方に対しては、市や専門機関と連携して対応します。

大和高田市の役割

- 虐待や暴力の相談を受け付け、警察などの専門機関と協力して、解決に向けて対応します。
- 成年後見制度の利用促進に引き続き取り組みます。

7 重層的支援体制の整備

(1) 重層的支援体制整備事業実施の経緯

「重層的支援体制整備事業」は、孤独を感じている人や、育児と介護の両方で悩む家族、80代の親が50代の子を支える「8050問題」など、これまでの仕組みでは支えきれなかった複雑な悩みにも、地域全体でまるごと対応できる体制を整えることです。そうすることで、誰もが自分の役割や生きがいを持ち、お互いを大切にしながら暮らせる「地域共生社会」を目指します。

大和高田市では、市役所や社会福祉協議会、地域の活動がこれまで以上に手を取り合い、今ある相談窓口や活動を最大限に活かしていきます。

また、既存の制度間の壁を取り払い、どんな悩みでもまずは受け止め、解決までつながり続ける仕組みを作ります。そのために、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に取り組んでいきます。

◆ 目指すべき姿・概念の整理

上位概念（目指すべき姿・理念）	地域共生社会の実現
大和高田市第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画 助け合い、支え合う、笑顔あふれる福祉をめざして ～いつまでも住み続けられるまち、大和高田～	
中位概念（目標・方針）	包括的な支援体制の整備
具体的手法	重層的支援体制整備事業の実施

(2) 各事業の実施体制

大和高田市では、今ある相談窓口や地域の活動を活かし、さらに「丸ごと助け合える仕組み」を強化します。「重層的」という言葉には、支援がいくつも重なって手厚くなるという意味があります。具体的には「誰でも相談できる窓口」「社会とつながるきっかけづくり」「地域づくり」の3つを柱に、5つの事業が手を取り合います。網の目のように支援を重ねることで、どんな悩みを持つ人も一人にせず、しっかり支え続ける体制を作っていきます。

◆ 5つの事業

- 1 相談支援（包括的相談支援事業）
- 2 多機関協働
- 3 アウトリーチ等を通じた継続的な支援
- 4 参加支援
- 5 地域づくり



大和高田市第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画（概要版）

令和8(2026)年3月発行

発行：大和高田市

編集：大和高田市・社会福祉法人 大和高田市社会福祉協議会

大和高田市（担当：福祉部 社会福祉課）

住 所：〒635-8511 大和高田市大字大中 98 番地 4

TEL：0745-22-1101（代表）

URL：https://www.city.yamatotakada.nara.jp/

社会福祉法人 大和高田市社会福祉協議会

住 所：〒635-0077 大和高田市池田 418 番地の 1

TEL：0745-23-5426

URL：https://takada-syakyo.or.jp/